

2019年3月期 第1四半期決算補足説明資料

本州化学工業株式会社

2018年8月3日

2019年3月期第1四半期事業環境

1. 経済環境

当期間におけるわが国経済は、海外経済の不確実性等のリスクが見られたものの、輸出の緩やかな増加、個人消費の持ち直しや所得の堅調な回復等により景気の回復基調が継続しました。

2. 当社グループの事業環境

原材料価格の上昇等があったものの、引き続き情報関連財及び自動車関連市場の好調を受け、概ね順調に推移しました。

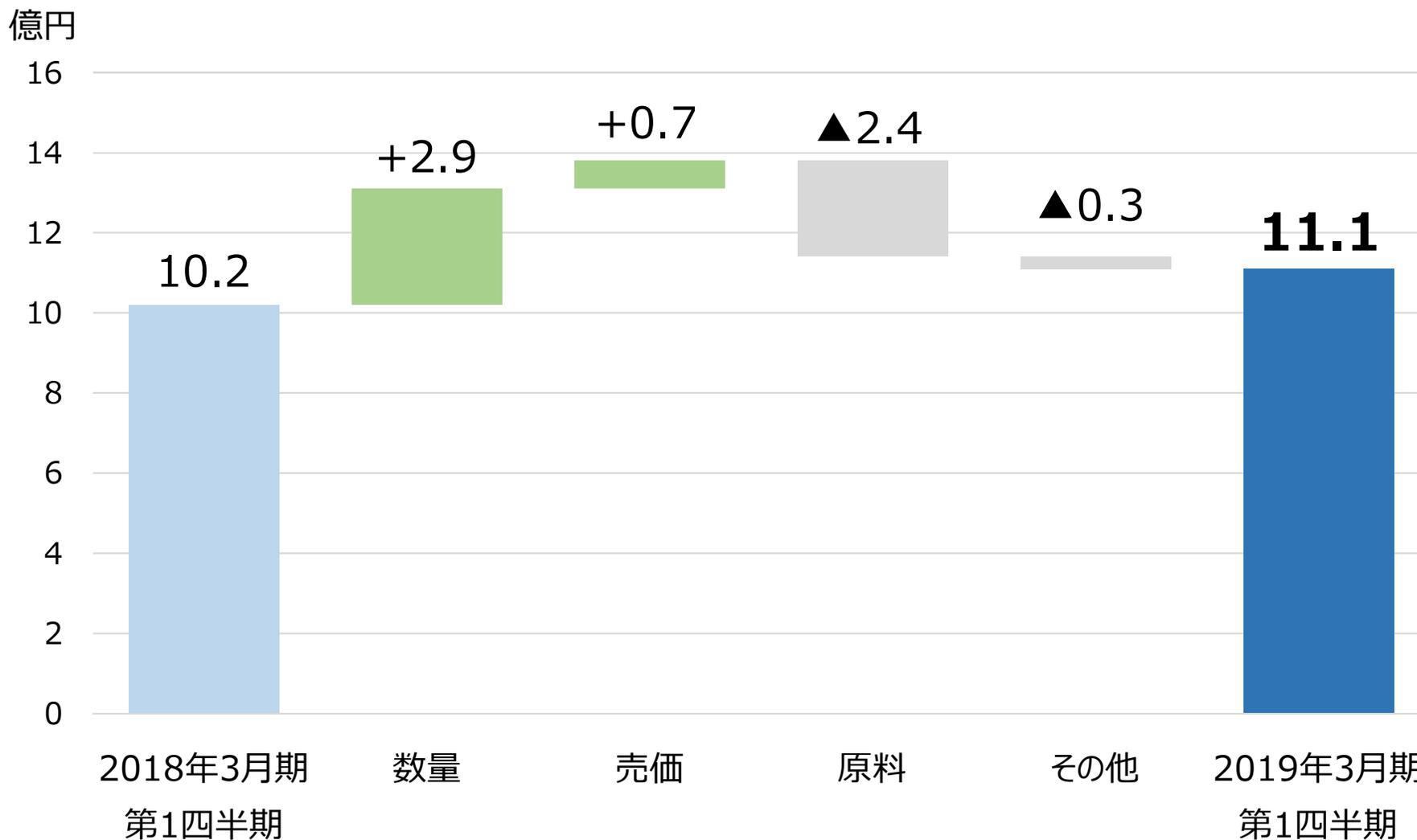
2019年3月期第1四半期連結決算

摘要	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期		2019年3月期 業績予想 (5月15日発表)	
		増減率	進捗率	増減率	進捗率
売上高	47.1	54.5	+15.7%	215.0	25%
営業利益	10.2	11.1	+8.8%	28.0	40%

(億円)

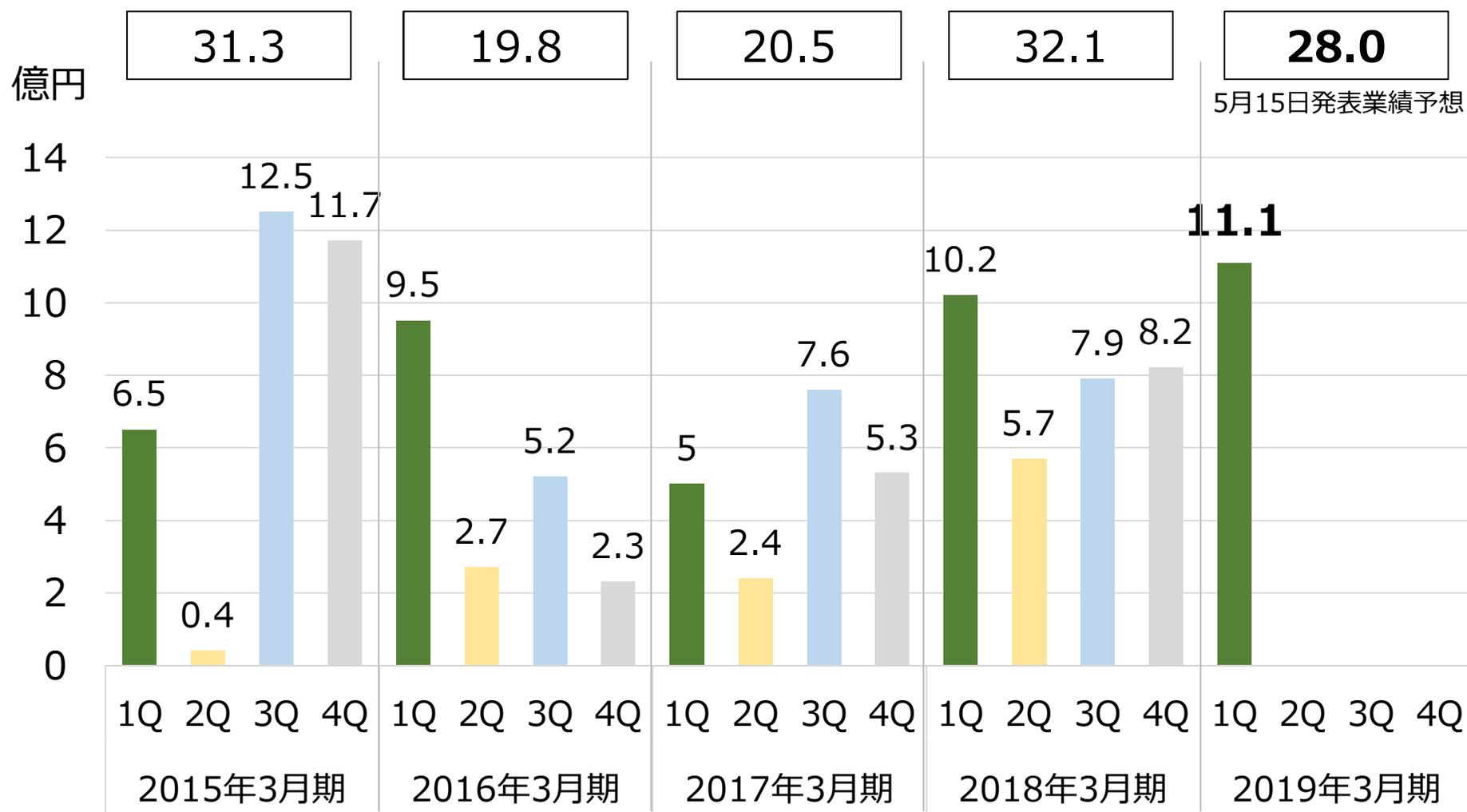
■好調な事業環境を背景に増収増益を達成

営業利益増減分析(対前期同四半期)



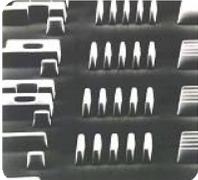
■増販による営業利益の増加

四半期別営業利益推移(連結)



■ 2019年3月期は計画通り順調に推移

当社事業セグメント

事業セグメント	主な製品	主な用途	
化学品セグメント	ビフェノール	スーパーエンプロ樹脂原料 (LCP:液晶ポリマー、 PPSU:ポリフェニルサルホン) エンプロ樹脂原料	
	トリメチルフェノール クレゾール誘導品	ビタミンE原料(飼料用) 農薬、電子材料 酸化防止剤	
機能材料セグメント	電子材料 光学用特殊ビスフェノール	フォトレジスト用添加剤 フォトレジスト用樹脂原料 特殊ポリカーボネート樹脂原料 特殊I ^o キ樹脂原料	
工業材料セグメント	自動車用特殊ビスフェノール 受託品	特殊ポリカーボネート樹脂原料	

セグメント別売上高・営業利益

	売上高			営業利益		
	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	増減	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	増減
化学品セグメント	19.5	26.0	+6.5	3.8	4.4	+0.6
機能材料セグメント	8.3	10.3	+2.0	2.3	2.5	+0.2
工業材料セグメント	18.2	17.0	▲1.2	6.0	5.6	▲0.4
その他*	1.2	1.3	+0.1	▲1.8	▲1.4	+0.4
合計	47.1	54.5	+7.4	10.2	11.1	+0.9

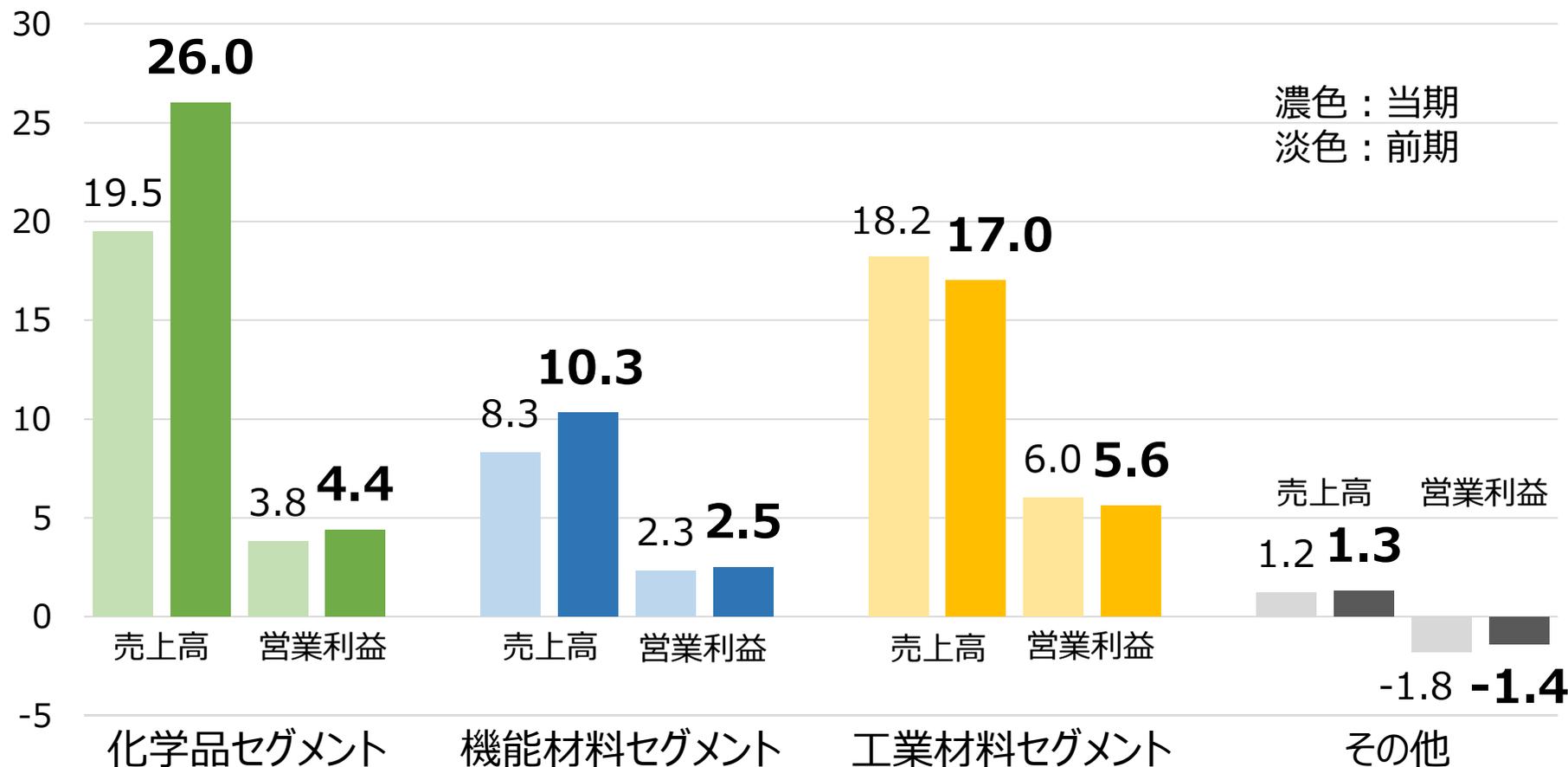
(億円)

■化学品及び機能材料の両セグメントで増収増益を達成

*その他区分の売上高や営業利益には、報告セグメントに含まれない用役の販売や、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれています。

セグメント別売上高・営業利益前期同四半期比較

億円



■化学品及び機能材料の両セグメントで増収増益を達成

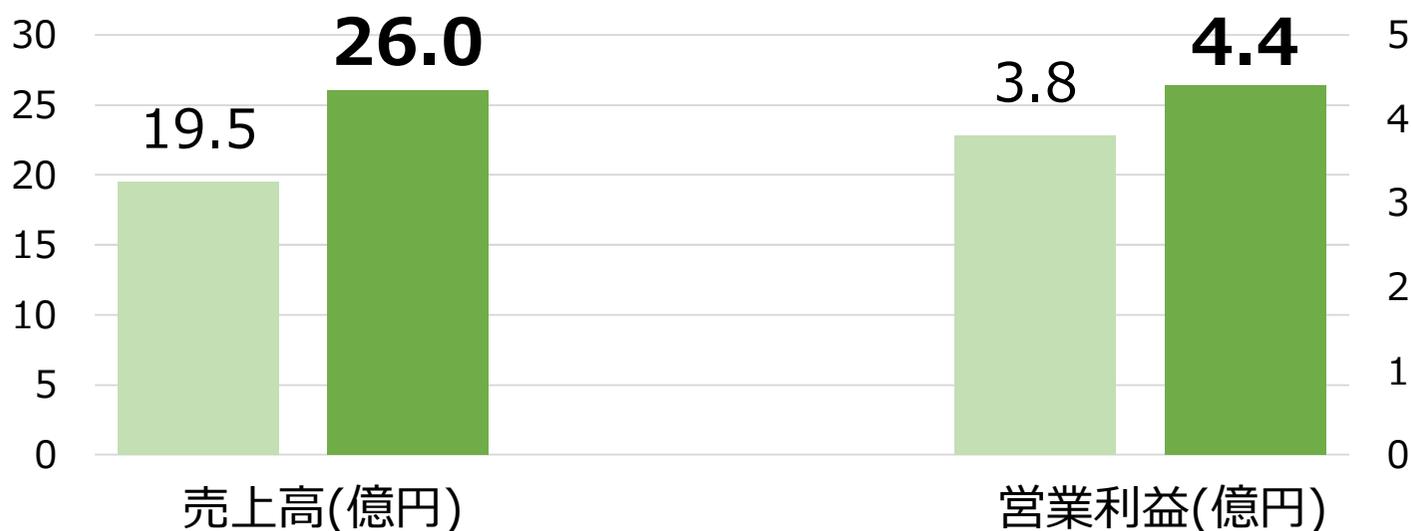
*その他区分の売上高や営業利益には、報告セグメントに含まれない用役の販売や、各セグメントに配分していない全社費用等が含まれています。

セグメント別事業概況 <化学品>

ビフェノールは、需要安定により販売数量は順調に推移し、売上高は前年同四半期並みとなりました。

クレゾール誘導品は、ビタミンE用途のトリメチルフェノールが需要堅調により販売数量が増加し、売上高は前年同四半期を上回りました。

よって化学品セグメントの営業利益は、前年同四半期を上回りました。

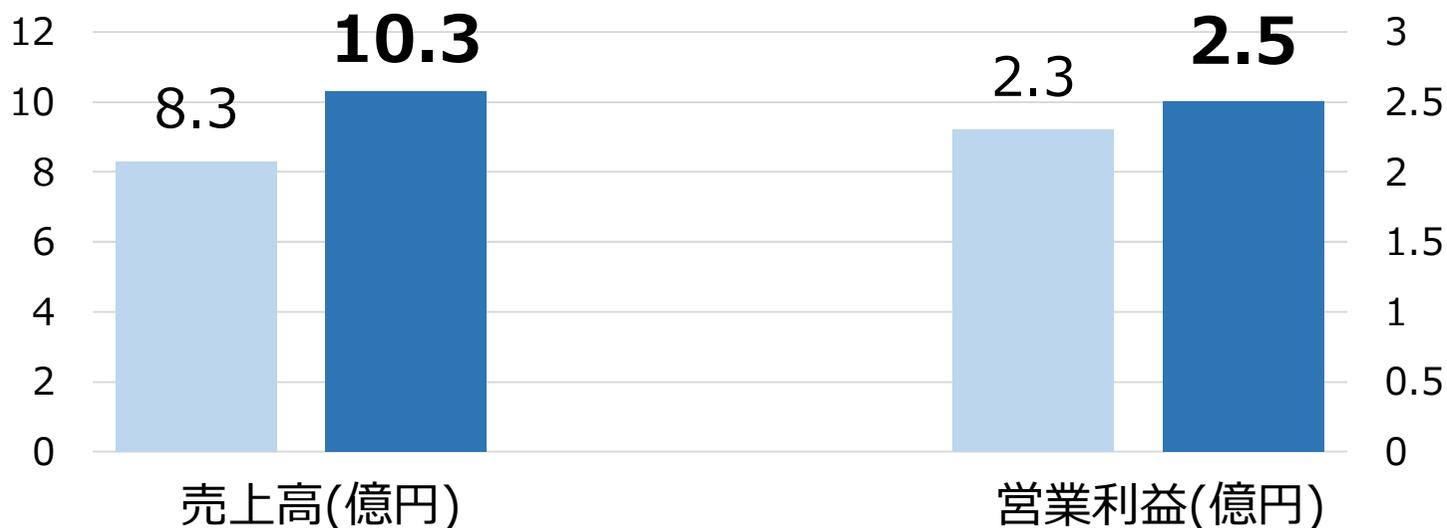


セグメント別事業概況 <機能材料>

電子材料は、スマートフォン販売鈍化の影響を受けフラットパネルディスプレイ領域の一部がやや減速したものの、それ以外のLCD向けや半導体需要が堅調に推移し、また開発品も順調に進捗したことから、売上高は前年同四半期を上回りました。

光学用特殊ビスフェノールは、スマートフォン1台あたりのレンズ使用枚数増加や光学レンズ用途の裾野の拡大により、当第一四半期においては、光学部品用途向けを中心に需要が堅調に推移し、売上高は前年同四半期を上回りました。

よって機能材料セグメントの営業利益は、前年同四半期を上回りました。



セグメント別事業概況 <工業材料>

自動車用特殊ビスフェノールは、引き続き需要が好調に推移しております。当第1四半期においては、為替変動の影響が少なく売上高は前年同四半期並みとなりました。

受託品は、受託契約の一部が終了したため、売上高は前年同四半期を下回りました。

よって工業材料セグメントの営業利益は、前年同四半期を下回りました。

